

坂出オレンジ プロジェクト

認知症共生社会の実現
--支える・支えられるの
『壁』を壊せ--

坂出市 × 東京大学



坂出市の課題

--四国の玄関口が直面する
「超高齢社会」のリアル--

- 01 人口は約5万人
- 02 日常生活圏域は5圏域（チームオレンジも5か所）
- 03 高齢化率は約35%
- 04 認知症相談窓口の認知度は25%
- 05 物盗られ妄想/徘徊の相談件数の増加
- 06 認知症のかたが活躍できる場が少ない



坂出市の目的地

認知症になっても「やりたいこと」ができ
役割をもって暮らせる街

--支える・支えられるの関係性を超えた
お互いに支え合う共生社会の実現を目指す--

- 01 チームオレンジ活動の持続・活性化
- 02 認知症の普及啓発活動

学生の皆さんのクリエイティブな視点で
街全体のアップデートを期待



チームオレンジ × 5 圏域

A圏域



B圏域



C圏域



D圏域



E圏域



チームオレンジ × 東大生 × 園児(5歳児)



Sakaide
Orange
Project



今後のロードマップ（昨年度の学生からの提案）

短期

（チームオレンジ）

活動の持続化、活性化に向けて様々なアクターとコラボしたイベントを開催



中長期

「チームオレンジ×〇〇」の組み合わせを増やし、つながりを恒常化
認知症サポーターの増加、認知症高齢者や男性の参加増

（地域社会：教育）

小学校で先行的に認知症の普及啓発教育や調査を実施し、教育プログラムをブラッシュアップ



小学校での実績を積み、中高に展開。さらに教育委員会と協働しつつ、坂出市ならではの段階的な認知症教育プログラムを策定、現場で実践

あなたの視点が
坂出の未来を変える

坂出市 × 東京大学